

分娩台 DG-396

【警告】

- 1) 患者および使用者の手・指・身体の一部を機器の可動部や可動部の周辺に近寄らせないこと。
[挟まれて人身事故の原因になります。]
- 2) 本製品に患者を乗せたまま縦転を行うときは十分な支えをし、患者さんの安全の確認をしながら操作してください。
[転落による人身事故の原因になります。]

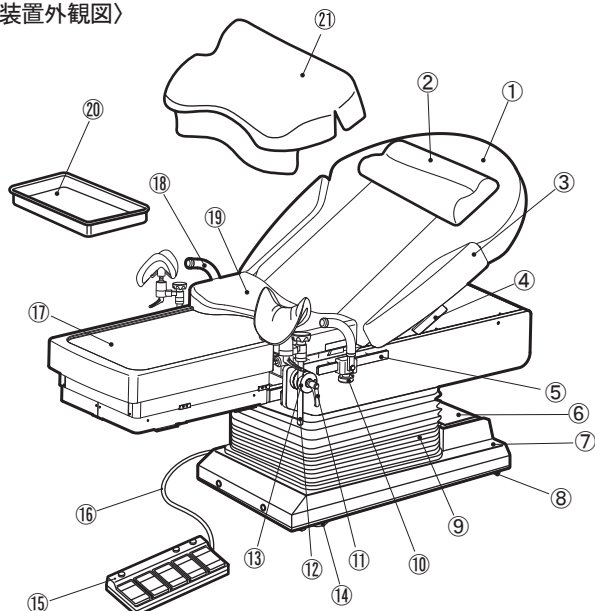
【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞

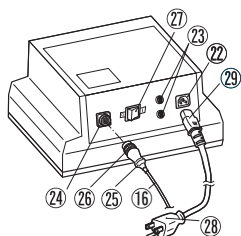
- 1) 本製品の電源が入った状態で、本製品と電気メスを同時に使用しないこと。
[誤動作の防止(相互作用の項参照)]

【形状・構造及び原理等】

＜装置外観図＞



- ①背モタレ ②枕 ③サイドクッション ④サイドクッション固定レバー
⑤サイドレール ⑥電源パネル ⑦ベース ⑧アジャスター ⑨ジャバラ
⑩怒責グリップ固定ノブ ⑪支柱固定ハンドル ⑫支柱 ⑬足受けロック本体
⑭ローラー ⑮フットスイッチ ⑯フットスイッチ中継コード ⑰補助台
⑱怒責グリップ ⑲シート ⑳ステンレスパット ㉑シートカバー



- ㉒機器用インレット
㉓ヒューズ(15A)
㉔フットスイッチ用メタルコンセント(ソケット)
㉕メタルコンセント(プラグ)
㉖ロック金具 ㉗電源スイッチ
㉘電源プラグ ㉙機器用コネクタ

- (1) 本体寸法・・・960mm×2023mm×600mm
(2) 質量・・・370kg
(3) 電気定格・・・AC100V 4.7/5.4A * 50/60Hz
(4) 動作原理・・・電動油圧式

＜性能＞

- (1) 初高……………600±10mm
(2) 本体昇降ストローク……………600±10mm【電動油圧式】
(3) 本体縦転角度……………10°～-10°±2°【電動油圧式】
(4) 背モタレ寝起角度……………0°～75°±2°【電動油圧式】
(5) シート昇降角度……………0°～15°±2°【電動油圧式】
(6) 補助台スライドストローク…735±10mm【電動油圧式】
(7) 補助台昇降ストローク…………130±10mm【電動油圧式】
(8) ポジションメモリー機能……プリセット機能

補助台スライド引出・補助台上昇
オートリターン機能1
補助台下降・補助台スライド収納
オートリターン機能2
本体下降・縦転水平復帰

- (9) サイドクッション……………ワンタッチ着脱式
(10) コントロール操作電圧…………DC5V (フットスイッチ操作)
(11) 電撃に対する保護形式…………クラスⅠ B形装着部

＜動作保証条件＞

下記の条件にて使用すること。(但し、結露しないこと)

温度…10℃～40℃

* 湿度…10%～90%

* 気圧…700hPa～1060hPa

【使用目的又は効果】

本製品は、調節可能な診断・処置台で、陣痛・分娩時、および妊娠に関連した他の診療・処置時に、女性の体位を適切な位置に支持することを目的としています。

【使用方法等】

＜設置方法＞

- ・本製品は、必ず平らで丈夫な床の上に設置すること。
- ・床面が5°以上傾いている場所へ設置すると本製品が転倒するおそれがあります。(取扱説明書の「設置」の頁を参照のこと。)
- ・本製品は移動するとき以外、必ずアジャスターを調整し、安定させてください。ベッド状態での休息時においても、分娩時においても本製品が不意に動くと、人身事故や物損事故などの原因になります。

＜使用方法＞

- ①電源パネルにフットスイッチのメタルコンセント(プラグ)を接続し、電源プラグをアース端子付コンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。
- ②本製品の操作はフットスイッチで行います。
- ③本製品の使用後は電源スイッチを切り、電源プラグをアース端子付コンセントから抜いてください。

本製品の詳細な操作方法、および使用方法については付属の取扱説明書「操作方法」の頁を必ず読むこと。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) 機器周辺に、患者以外（特に子供）を近づけないこと。
やむを得ず、患者以外を近づける場合、機器の操作中は、患者以外の安全にも考慮すること。[挟み込みによる怪我の防止]
- 2) 植込み型心臓ペースメーカ又は植込み型除細動器を使用している患者において、使用中、患者に異常が見られた場合は直ちに本製品の電源スイッチを切り、使用を中止すること。こと。本製品から発せられる電磁波によりペースメーカ又は除細動器の機能に障害を与えるおそれがあります。
- 3) 本製品は出荷時に消毒・滅菌などがされていないので、使用前に清拭作業を行なうこと。
- 4) 人体質量135kgより大きな人、及び同時に複数の人を乗せないこと。
- 5) 薬液等が樹脂や金属塗装面に付着した場合、樹脂が変質したり、塗装が剥れ、内部金属が腐食する恐れがあるので、速やかに清拭してください。
- 6) 本製品の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器の使用は、装置に障害を及ぼす恐れがあるので使用しないこと。
- 7) 患者を乗せての本製品の移動は行わないでください。転倒・落下のおそれがあり、人身事故の原因になります。
- 8) 本製品を使用する前に怒責グリップが調節可能な範囲で確実に固定されていることを確認してください。固定不良により使用中にはずれたり、患者の姿勢が変わると思わぬ事故の原因になります。
- 9) フットスイッチに物やストレッチャーのキャスターなどが当たったりして、本製品が不意に動くと、人身事故や物損事故などの原因になります。
- 10) フットスイッチを裏返しに置いて思わぬ力がかかった場合、本製品が不意に動き、人身事故や物損事故などの原因になります。
- 11) 本製品を使用する前に股受け、踵受け、自在踵受け（別売）などの各部が調節可能な範囲で確実に固定されていることを確認してください。固定不良により使用中にはずれたり、患者の姿勢が変わると思わぬ事故の原因になります。
- 12) ワージャバラがはずれた場合、絶対に作動させないでください。電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて取扱店、または当社までご連絡ください。人身事故や物的損害のおそれがあります。
- 13) 本製品を移動するときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。また、前方や進路床面に障害物や段差がないことを十分確認しながら移動を行ってください。
- 14) 本製品を移動するときは物を乗せて移動しないでください。
- 15) サイドクッションを操作する時はしっかりと持って行ってください。足の上などに落ちるとケガをするおそれがあります。
- 16) 自在型踵受け（別売）の踵受け固定ハンドルは、踵受けの角度調節とスライドの固定とが共通になっていますので、踵受けをスライドさせるときは、踵受けをしっかりと支えてスライドさせてください。

〈相互作用〉

〈併用禁忌〉

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
電気メス	併用する場合は必ず本製品の電源を切ること。	電磁干渉により本製品が誤動作をするおそれがあるため。

〈併用注意〉

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器	本製品を使用中に、患者に異常が見られた場合は直ちに本製品の電源スイッチを切り、使用を中止すること。	本製品から発せられる電磁波により、ペースメーカ又は除細動器が誤動作をするおそれがあります。

＊ ＊ 【保管方法及び有効期間等】

〈使用期間〉

非連続作動
最大作動時間 3 分
デューティサイクル 1 : 5

〈耐用期間〉

- ・ 本製品の耐用期間は、正規の保守点検をした場合に限り 10 年間はです。[自己認証（当社データ）による]
- ・ 背モタレ、シート、サイドクッション、補助台などのクッション部品、シートカバー、フットスイッチカバー、およびスイッチ類は使用環境によって異なります。

【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ず読むこと。

- 1) 本製品および部品は必ず日常点検を行うこと。
 - ・ 設置状態の確認。
 - ・ 電源スイッチの確認。
 - ・ フットスイッチ操作での作動確認。
 - ・ 怒責グリップの可動性、および固定の確認。
 - ・ 足受けロック本体の操作性と固定の確認。
 - ・ 股受け/踵受け/自在踵受けの操作性と固定の確認。(アクセサリ)
 - ・ 本体昇降機構部、または上部本体からの異臭の確認。
 - ・ オイル漏れの確認
 - ・ 外観部品の状態確認
- 2) しばらく使用しなかった本製品を再使用するときは、使用前に清掃作業を行い、清拭作業を行った後、必ず本製品が異常なく安全に作動することを確認すること。

● 本製品を廃棄するとき

本製品や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行い、その時点での法規制にしたがい、適切な処理をしてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

タカラベルモント株式会社

TEL : 06-6212-3620

販売業者